

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

4

April
2020

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



英知を結集して難局を乗り越えよう!



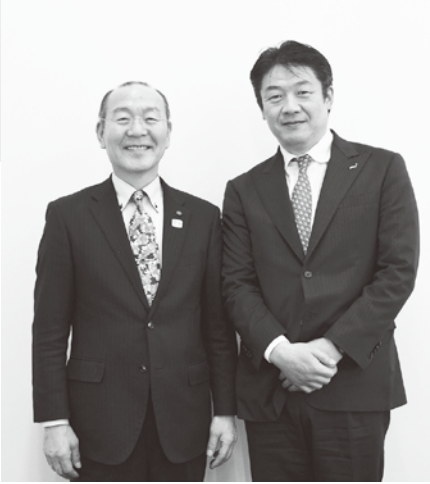
よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

代表理事メッセージ



英知を結集して 難局を乗り越えよう！

代表理事 川合勝芳

代表理事 菅原茂秋

新型コロナウイルス感染症が急激に広がり、会員の皆さまへの影響はいかがでしょうか。

各企業や団体、そして家庭での対策も万全ではあると存じますが、地方の中小企業・小規模企業においては、今後ますます影響が出てくるのではないかと危惧いたします。この緊急時には、自社はもちろん仲間とも状況を共有し合い、対策をとっていくことが最も大切なことではないかと思っています。

日々刻々と変わる、先の見えない緊急事態だけに発信しにくい状態だとは思いますが、国としても、地域としてもリーダーのメッセージが必要です。同友会会員の皆様は各企業のリーダーです。経営者として社員を守り、持続する企業を目指す仲間として英知を結集し、この緊急事態を乗り越えようではありませんか。

同友会としても、「新型コロナウイルス感染症による影響」の緊急アンケート調査を行い、50%近い回答をいただきました。「現時点ですでに影響が出ている」「現時点ではでていないが、今後影響が出る可能性がある」に回答した企業は約94%に達しております。分析した内容から国の支援策だけでは行き届かない地域独自の支援策の拡大や手続きの簡素化などを県に緊急要望・提言して参りました。また、金融機関にも調査の報告と、ご協力をお願いに行って参りました。

会員の皆様には日々変わる情報を発信しておりますが、今後もグループウェア「e.doyu」やWebを活用したセミナーなどで、やるべき行動と情報をいち早く発信して参りたいと思いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

私たち中小企業には地域のインフラの役割があります。地域の暮らしと経済の根幹を担う中小企業家として、企業と雇用を守り、みんなで協力して、この難局を乗り越えていきましょう。

山形県中小企業家同友会 新型コロナウイルスの影響に関する緊急調査報告

新型コロナウイルスの会員企業への影響は、「現時点ですでに影響が出ている(98名 55.1%)」「現時点ではでていないが、今後影響が出る可能性がある(69名 38.8%)」で、合わせると93.9%となり、ほとんどの企業の経営に影響が及んでいるとの結果が出ました。業種別からは卸売・小売業で68.0%、サービス業で62.5%が「現時点ですでに影響が出ている」と回答、製造業、建設業においては「今後影響が出る可能性がある」と回答している方が多く、時間の経過とともに影響が拡大していくと思われます。

具体的な影響では、「展示会・イベントの中止・延期(44名 44.9%)」「国内外への出張の中止・延期(35名 35.7%)」「来店数の減少による売上減少(33名 33.7%)」「予約キャンセルによる損失の発生(32名 32.7%)」「国内仕入れ先からの仕入れ、調達に支障をきたしている(32名 32.7%)」が上位を占め、感染防止のための活動自粛が人や物の流れを止め、経済活動に大きな影響を及ぼしています。

今後懸念される影響では、「消費自粛による売上減少(107名 60.1%)」を挙げる方が圧倒的に多く、それに伴う「資金繰りの悪化(61名 34.3%)」、「社員の出勤停止・時差出勤などへの早期対応(62名 34.8%)」が上位に挙がっています。

山形県内では企業数の99.9%が中小企業であり、従業員数の84.4%が中小企業で働いており、山形県の暮らしと経済を支えている存在です。分かりやすい周知、手続きが簡便な資金調達と雇用確保の支援施策が求められています。

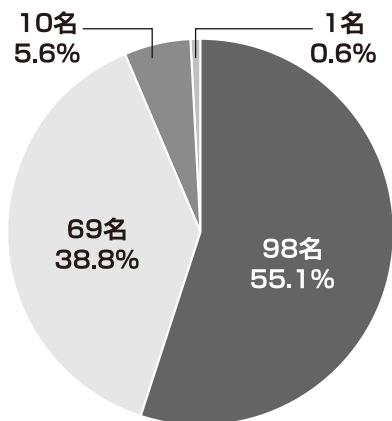
調査期間:2020年3月5日～3月19日 調査対象:山形県中小企業家同友会会員

調査方法:e.doyuおよびFAXにて自計記入を求め、会員421名より178名の回答を得た(回答率42.3%)

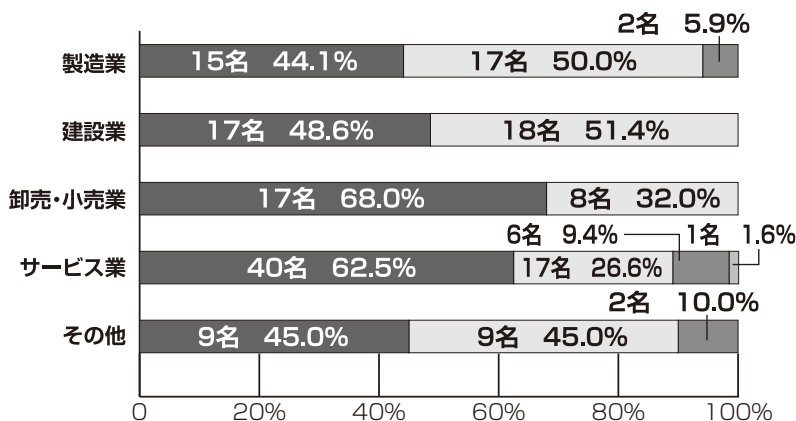
Q1. 新型コロナウイルスの感染拡大は、 貴社の経営や業界に影響はありますか。(選択)

- ①現時点ですでに影響が出ている
- ②現時点では出ていないが、今後影響が出る可能性がある
- ③影響はない
- ④わからない

■ 経営や業界への影響

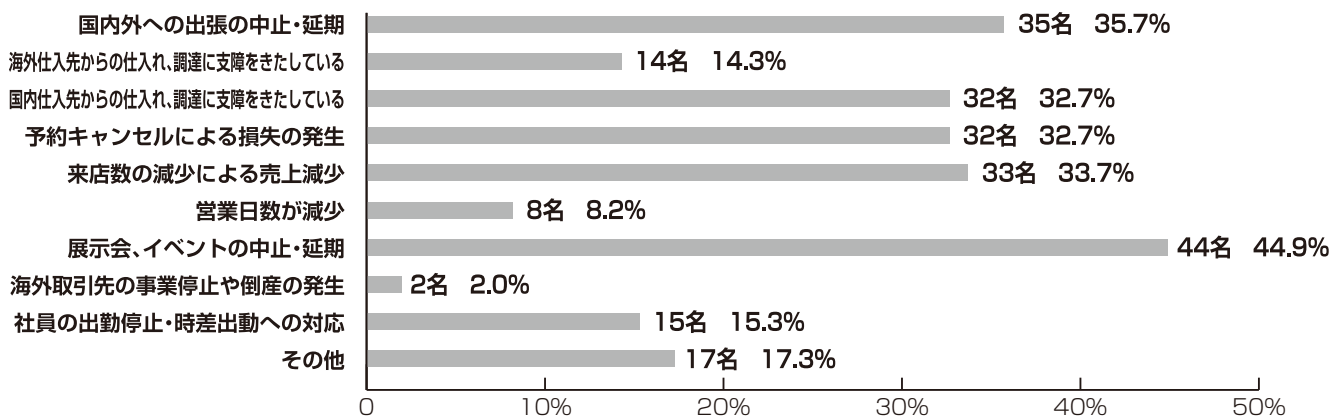


■ 事業別状況



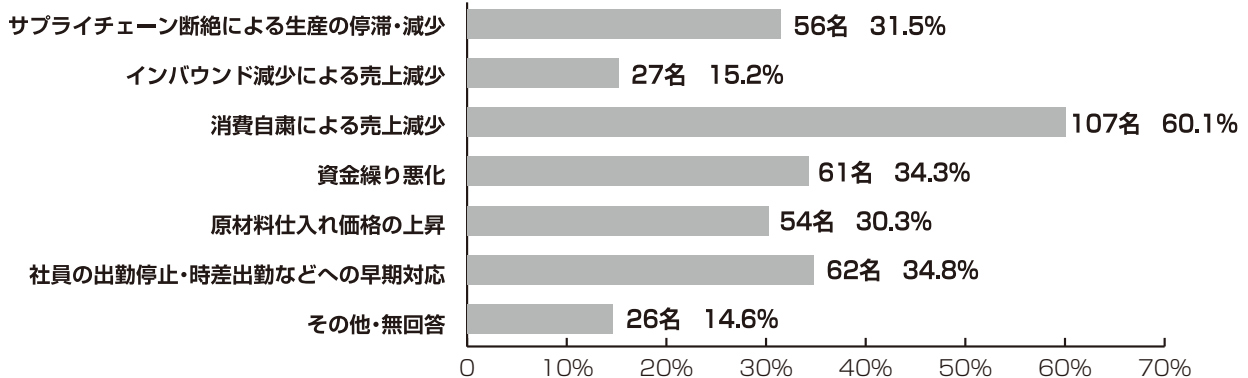
Q2. Q1で「①」と回答した方に伺います。 具体的にどのような影響が出ていますか。(複数回答)

■ 具体的な影響



Q3. 新型コロナウイルスへの今後の影響について、 どのような懸念をお持ちですか。(複数回答)

■ 今後の懸念



Q4. 国・県などへの提案・要望があればお聞かせ下さい。(記述)※一部要約・抜粋

- ・連帯保証の撤廃を地方こそ徹底すれば、今回の件、事業承継が進まない件等全てが円滑に進む事間違いありません。金融庁が指導していることなのになぜ従えないのでしょうか。
- ・緊急の資金調達支援(銀行以外)、専門の経営アドバイザー・BCP対策のプロの訪問
- ・県が打ち出した金融支援策ですが、弊社のように経営再建中(リスク等実行中)の場合は(公庫、保証協会から)対象外ということで回答がきました。つまり、今回の件により経営続行を選択したところで支援はできないということは「倒産しても構わない」ということでしょうか。いくら再建を目指し頑張っている、自社に全く責任のない事案がおきても「知らん」、ということがよくわかりました。残念です。
- ・政府では緊急金融支援を行うとの事であるが、前年比〇〇%減少(落込み)等の通常の対策ではなく、企業が計画していた計数が実績とどのくらいの乖離があるか?という実態に合わせた聞き取りを行い支援して頂きたい。画一的な支援は企業においても無駄が多く、ゾンビ企業の延命助けるという指摘を受けることになる。公庫のみならず民間金融機関の窓口も開放して頂きたい。
- ・消費を刺激する経済政策の発動(落ち着き次第)、収入が激減した方への支援策
- ・イベントや説明会など「直接的なコミュニケーション」の自粛に伴い、ITを使った業務やWEBによるコミュニケーション環境を急速に整備する必要があると感じます。小規模事業者やIT補助金など、何とか条件を緩和し補助金を使って将来への投資をしやすくして欲しいと思います。
- ・テレワークの導入・運用には時間も費用もかかり中小企業にとって自力では難しい。テレワークのアドバイザー等を希望する企業へ派遣するなどの支援をお願いしたい。
- ・インバウンドに依存しない経済活動への移行を提案します。今後も新たなパンデミックや事故は発生する。
- ・影響が長期に亘る場合、保護者の経済的な影響を考え、緊急的な奨学金の設定等
- ・休校やイベント中止など、再開に向けた基準などを示してほしい。また、農業への支援をしてほしい。生産者が辞めてしまう。
- ・経済的損失はあきらかである。消費税はゼロにしてほしい。
- ・元請けは内部留保高い。特に下請け、孫請けに対する金融支援必要。
- ・国：渡航規制、入国規制の強化。強権発動の法整備。育児などで休職する人への補償と合せ、休職される企業側への支援。介護施設における人員配置の緩和。
- ・県：山形県民に対して新型コロナウイルス検査の実施緩和。感染者数の早期把握。
- ・経済活性化のためにも一時的に消費税の凍結などを考慮していただきたい。
- ・消費税の税率を下げるとか、ゼロにするとか、実際に申告する側からすると事務処理がひどいことになりそう。それだけでなく軽減税率の処理でどんなことになるのか今からビクビクしています。もっと良い策を期待しています。
- ・経営者、従業員・家族に不安を取り除けるような、柔軟な対応、相談窓口、メンタルケア等の政策を大胆に打ち出してほしい。
- ・保育園休みにしないでほしい。
- ・インフォデミックに注意を払い、信ぴょう性の高くグローバルな情報を発信してもらいたいです。
- ・メディアの報道による影響が大きいため、公開情報を減らしてほしい。マイナスばかりではなく、プラスになる行動、地方自治体、いろいろな機関が取り組んでいる内容をあげてほしいです。
- ・罹患者の個人情報にはなるべく控え個人を特定できないよう報道に気をつけて頂きたいです
- ・抗菌ライト等、ウィルスに効果がある器具を普及させるべき。
- ・積極的なウイルス検査の実施と検査機関の早期拡大。集中的な感染源撲滅対応を望む。
- ・特效薬の開発。マスクとアルコール消毒が国民に届くようにしてほしい。

「第25期経営指針を知る会」開催



4月から開講される「第25期経営指針をつくる会」に向けて、3月19日に「経営指針を知る会」がTISカンファレンスセンターにて開催され、ゲストの方々も含め33名が参加しました。

はじめに、経営指針委員会委員長の小川 大輔氏(㈱カーサービス山形 代表取締役)から「同友会らしい経営指針とは？」と題して講義がありました。

小川氏は2013年に同友会に入会、2014年に「第19期経営指針をつくる会」を受講し、理念、10年ビジョン、方針、戦略、計画などからなる経営指針書を作成します。作成過程において小川氏が重要と語るのが経営環境分析です。外部だけでなく自社の経営資源も分析し、経営方針に反映させて計画に落とし込む一連のプロセスが「同友会らしい指針」の特徴と小川氏は語ります。

その後小川氏は、経営理念から始まり「ありがた」と「やりかた」の両面を内包する経営指針書の概略を解説。基本

的な考え方として「労使見解(書籍『人を生かす経営』所収)」をしっかり読み込むことが必要と呼びかけました。そして「つくる会」修了後も同友会行事や経営指針委員会に参加するなどの学びを続けることが実践においては重要とし、自身が学び続け、経営環境分析、社内意見の反映などに取り組み経営指針をブラッシュアップしてきた実践を報告しました。

続いて行われたグループ討論では、各社の経営課題を率直に語り合い、課題を洗い出し、解決への取り組みを考え合いました。

そして第22期の修了生である飯野純一氏(㈱虎弘印刷 取締役社長)から体験報告がありました。

飯野氏は2017年に「第22期経営指針をつくる会」を受講。当初は軽い気持ちで参加したため、深く問われる内容には戸惑いもあったといいます。しかし、「この仕事を続けたい」の一心で食らいつき、先輩会員の助言を受け、「労使見解」を何度も読み返しながらかつて修了までたどり着きました。そして指針書に基づき経費削減、顧客リストの整理、月次の売り上げ管理など、場当たりの経営からの脱却に取り組み、業績も増収増益に転換しました。

飯野氏は最後に「私もまだまだ未熟で、もっと勉強し成長していきたい。皆さんには『つくる会』にご参加いただき、悩みを打ち明け、課題に気づいてほしい。お互いに学びあい、良い経営者になり、良い会社を作っていきましょう」と受講を呼びかけ、報告を締めくくりました。

山形県中小企業家同友会 第36回定時総会

日時: **4月21日(火)**

受付/13:00 開会/13:30

定時総会13:30~14:45

緊急提言14:45~15:20

会場: **パレスグランデール**

山形市荒楯町1-17-40 ☎023-633-3313

参加費: **無料**

新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し、私たちの生活・地域経済にまで大きな影響を与えています。2020年度は、どんな情勢にあっても生き抜く企業づくりに取り組み、持続可能な地域と企業をめざして10年ビジョンを描き、未来へ向けて挑戦していきましょう。

今総会の開催にあたっては新型コロナウイルス感染防止の点で様々な角度から検討した結果、総会と緊急提言のみとさせていただきますこととなりました。なお、ご参加の方はマスク着用でのご来場のご協力をよろしくお願い申し上げます。

第11回理事会報告

◆日時: 2020年3月26日(木)午後3時~午後5時 ◆会場: TISカンファレンスルームC ◆議長: 後藤副代表理事
◆出席者: (敬称略)川合、菅原、後藤、志田、齋藤、赤塚、阿部、石川、板垣、伊藤、大泉、大久保、小川、佐藤(淳)、佐藤(栄)、佐藤(啓)、庄司、玉津、服部、松岡、八代、事務局 矢作、芳賀

■開会挨拶

川合代表理事が「新型コロナウイルスの影響で大変ですが、新年度に向けてどうしても議論の必要があり、配慮をした上で開催させていただいた。県内で感染者は出ていないが、危機感をもって対策を実施する必要がある。経営者と政治家は先を見て計画を立てていくべき存在で、刻一刻と変わる環境の中で、随時メッセージを発信していく立場にある。山形同友会も会員に不安を与えず、一社もつぶさない姿勢で、皆で協力する体制をとり、緊急の対策を示すことが必要。行政や金融機関にも提言活動を開始している。それぞれの立場での情報を共有し活動していきたい」と述べました。

■報告事項

1) 2019年度2月月次報告

矢作事務局長から2月月次決算報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 7名入会 7名退会 425名

■討議事項

議題1: 新型コロナウイルス対策について

矢作事務局長から調査結果の報告と説明、川合代表理事と菅原代表理事から山形県、山形市、さらやか銀行、山形信用金庫に要請を行ったことと支援活動についての報告がありました。

理事からは「支援策が出てはいるが、審査時間や窓口の混雑などで資金繰りへの即効性が無い。

自社の顧客では『融資が受けられるのは4月末になる見込み』などの声もある」などの声があり、それらを取りまとめて報告すること、代表理事のメッセージを「同友やまがた」に掲載することを決定しました。

また、菅原代表理事から「会の魅力が失われないために、Zoomを導入しwebセミナー開催に向け準備を進めているが、各組織でどのような活動をするかも考えていく必要がある」と提案があり、各組織での活用可能性について討議がありました。

議題2: 第36回定時総会について

実行委員長を務める志田副代表理事より新型コロナウイルス感染症防止のため、総会と緊急提言のみとすることが提案され、タイムスケジュールと合わせて承認されました。

議題3: 総会議案について

川合代表理事より2019年度活動のまとめ、2020年度役員(案)、2020年度活動方針(案)の提案があり、承認されました。2020年度予算(案)については、再検討をした上で、4月理事会に再度上程することとなりました。

議題4: 2020年度事務局員採用について

菅原代表理事が事務局員募集にあたって14名の応募があり、書類選考と面接を行った経緯を説明した上で、2名採用することを提案し、承認されました。

議題5: 第4次中期ビジョンについて

後藤副代表理事から第3次中期ビジョン総括ならびに第4次中期ビジョンが提案され、承認されました。

議題6: 酒田地区設立について

菅原代表理事が、2月20日の酒田地区準備会例会、3月27日に酒田で開催予定の庄内支部3月例会が中止となったことを報告した後、4月13日予定の酒田地区設立祝賀会の開催について討議が行われ、5月以降に延期して開催することが決まりました。

議題7: 新春交流会のまとめ

石川理事より2020新春交流会のまとめと収支報告が提案され、承認されました。

■その他

1) 委員会より

① 社員共有委員会 4/6 予定の合同入社式は中止、新入社員研修は延期

② 共同求人委員会 4/9 予定の第1回合同企業説明会は中止し、就活セミナーと企業紹介をZoomにて配信する準備中。

③ 経営指針委員会 3/19 経営指針を知る会を開催し、第25期経営指針をつくる会受講生を募集中

2) 今後の予定

第36回定時総会	4月21日(火)パレスグランデール
第2回合同企業説明会	5月12日(火)山形テルサ

3) 次回理事会

● 日時: 4月8日(水) 15:00~17:00

● 会場: TISカンファレンスルームC

■閉会挨拶

菅原代表理事が「今回はリーマンショックを上回る状態となることは間違いないと思われる。不況の中で『一社もつぶさない』という姿勢で取り組んでいくことが同友会運動の本質と思う。自社の人事部も同友会の合同入社式中止を残念がっていたが、これを次回の教訓にして、やり方を見直すきっかけにしていきたい。仕事の見直しも行い、乗り越えて、この経験がこれから生きていくという形にしたい。今後、web配信など活用し、元気のない会員とも支え合える会運営を行いたい。各組織で不安が払しょくできるような取り組みが求められていくと思うのでご協力をお願いしたい」と述べました。

新会員紹介

◆ 若月 寿浩 氏

株式会社印刷 取締役 関東統括部長
印刷・WEB・SPツール・ノベルティ
寒河江支部

◆ 木村 真也 氏

そば処 菘むら 店主
飲食店
山形支部

◆ 大川 淳 氏

㈱トータル保険 代表取締役
損害保険・生命保険販売
庄内支部

◆ 大沼 美悦 氏

(有)B-PLUS 代表取締役
理美容用器具及び材料・化粧品販売
さくらんぼ支部

◆ 藤井 真由美 氏

㈱CFCS山形 代表取締役
化粧品小売販売・フェイシャルエステサロン
庄内支部

◆ 高橋 剛 氏

㈱丸高 代表取締役社長
総合建設業
庄内支部

◆ 庄司 文彦 氏

(同)つかさや旅館 代表社員
旅館業
庄内支部

同友やまがた4月号 (2020年4月1日発行/通巻325号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL: <http://yamagata.doyu.jp/> E-mail: info@yamagata-doyu.jp